

2020年度第1回教育課程編成委員会議事録(ホテル科・ブライダル科・夜間部デュアル科)

日 時	2020年7月13日(月)	場 所	8号館 3F ホテル実習室	進 行	澤田	記 録	塚本
出席者	企業側(4名)敬称略・順不同						
	企業名・団体名		名前		学科		
	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会		飛田 和子		ホテル・ブライダル・デュアル		
	株式会社オータパブリケーションズ		山下 裕乃		ホテル・ブライダル・デュアル		
	シティパークアンドサービス株式会社		加藤 哲也		ホテル・ブライダル・デュアル		
	ホテルニューオータニ幕張		風間 昭彦		ホテル・ブライダル・デュアル		
議 事 録	学校側(6名) 矢口、竹ノ谷、澤田、小園、栗原、塚本						
	澤田より分科会を開会。						
	校長挨拶(矢口) 本校では、5月中頃よりオンライン授業を実施。 6月から対面授業スタートとなり、学校にも活気がでてきた。 消毒・換気等密を防ぐ対策をしながらの運営であり、今後も状況に応じて変わっていく必要性がある。						
	1. 業界・企業の最新情報について(コロナウイルス対策など)						
	飛田氏:ホテルや会場によって、対応策は様々である。 挙式での聖歌隊については、アクリル板を立てる、牧師先生の周りに囲いを立てて、マスクなしで行う場合や、アクリル板なしでマスク着用など、会場に合わせて対応している。 検温や消毒は必須。婚礼は、9割近くが延期、1割弱が実施の状況。						
	風間氏:ホテル全体で、前年比4月5月と80~90%近く売上減。 緊急事態宣言解除後も、幕張メッセやTDRの影響が大きく、厳しい状況である。 ブライダルについては、9割が延期・中止(ほぼ延期)。 元々大人数で予定していた婚礼が、親族のみで今夏実施の予定あり。 従業員は、検温・消毒徹底。 お客様のご意向によって、アクリル板・フェイスシールド・マスク着用など臨機応変に対応している。 お客様自身が、スタッフ着用のフェイスシールドなどご持参されるケースもある。 レストランでの対応についても、席数は半分弱になっても、人手はかかるため、以前よりコストがかかっている状況。						
	加藤氏:7/7以降取引ホテル再開稼働。 ホテルそれぞれの方式を取り入れて対応している。 フェイスシールドの義務付けをしているのは1社程度。マスク着用は必須対応。 オペレーション自体は変わっていないのが現状。 ホテルによって対応が違い、消毒対応などにも手間暇かかることが多い。 あらゆる業界の中で新様式ビジネスが必要で、他業種とコラボレーションすることで、新しい兆しが見えるのではないかと。						
	山下氏:沖縄の大手配膳会では、市町村で助成金などの手続き業務に人材派遣をスタートした。 コロナウイルスの影響により、都内ホテルでの一般宴会・ブライダルは9月半ば以降に日延べ。 今後感染者数が増えることによって、さらに来年に日延べとなり、トーンダウンすることは否めない。 SNSにより情報が拡散されてしまうため、キャンセル料他料金設定が難しい。 パッケージプランではなく、ひとつひとつのアイテムと契約する方法に変更し、明確化していく必要がある。 テレワークする中での問題・不安要素として、営業部と広報の働き方、必要性が問われてきている。 ブライダルにおいては、オンラインでの新規接客が、新郎新婦にとって押し付けられる不安もなく自宅で気軽に聞けるので、プランナーはテレワークが増えている。						

お客様にとっては、プランナーより安心・安全であることが第一である。
バックヤードを輝かせること、その見せ方によって、ブランド力が上がっていき、良い人材も入ってくる可能性がある。
「with コロナ」として、非接触が必要であり、スマートチェックインやホテル入口での靴を脱ぐなどの対応、通路を一方通行にするなど、明確な対策も必要になってくる。

澤田 : 学校では、遠隔授業として課題・オンデマンド・双方向と様々な形で実施した。
密集を避ける対策として、座席表の指定、入館時入口の制限、職員が立って消毒の徹底、サーモグラフィの設置など行った。
留学生については、先週まで隔週での登校だったが、今週よりマスク・フェイスシールドを配布して全員登校となっている。

2. 2019 年度 教育課程の振り返り

澤田 : 共通科目

■キャリアデザインⅣ 2 年生後期に社会人マナー・プレゼンテーション技法を行っていたが、2019 年度以降Ⅰ～Ⅲ(1 年生～2 年生前期)で集中して行っている。

ホテル科

■英語の授業 クラス内での能力差があるため、レベル分けを考えていきたい。

■身だしなみ講座 特別講座から新授業として導入。

年間ブライダル科 60 コマに対して 15 コマのため、女子学生に関しては、もう少し時間数が必要と感じている。

塚本 : ブライダル科

■BC 技能検定対策 国家検定になったことにより、2019 年より対策授業を導入。
合格率の向上を目指していく。

■ブライダルフォト・ムービーの授業を拡大化。これからの授業運営となる。

栞原 : 夜間部

■キャリアデザイン 1 年生前期から導入したことにより、学生たちの就職やコロナの状況に対する不安解消につながった。

■身だしなみについて 業界で働ける学生が少ないため、身だしなみ(ヘア・服装)の授業が必要かどうかご意見を伺いたい。

3. 企業実習・採用活動状況について

澤田 : ホテル科

夏期企業実習については、冬期 12 月～約 1 ヶ月にスライド。

冬期企業実習については次年度 1・2 年生合同を予定。

ブライダル科・テーマパーク科については、現状難しく、違う形での単位認定となる。

小園 : 7/13 現在で、内定 83 名/全体人数 253 名 1/3 の内定率となっている。

※前年比(前年 7 月末)内定 137 名/全体人数 235 名

コロナウイルスによる採用中止・停止がかなり影響している。

業界変更する学生も出てきている。(エアライン→ホテル、ホテル・ブライダル→旅館など)

目標を失って、モチベーション低下している学生も多く、心のケアも必要となっている。

保護者から採用に関する問い合わせもあり、就職率 100% 達成のため引き続き学生対応していく。

2022 年度採用のインターンシップが始まりつつある。

4. 2021 年度以降について

澤田 : ホテル科

「ホテル接客英語」3 クラス分けで行っている。

レベル分けしてほしいという声も上がっているが、レベル分けをすると、男子学生が集まってしまうことに懸念がある。

「身だしなみ講座」現在 15 コマでの授業運営を行っているが、女子学生については、ブライダル科と比較して考えるともう少し時間が必要ではないかと感じている。併せて、ホテル科では男子学生も半数近くおり、男子学生が学んでおくと良い内容などがあればご教授いただきたい。

風間氏: 男子学生については、歩き方講座など行ってみてはどうか。

加藤氏: 専門学生より、大学生の方が手がかかるように思う。企業に入ってからしっかり身につけていく形でも良いのではないかと。

飛田氏:近年華やかなデザインのネイルアートが人気で、仕事上では目立たない色にするよう指導している。

山下氏:マスク着用が定着化しつつある中で、マスク着用での見え方、表現の仕方が重要である。

表情が見えてこない企業もあるが、今後は「マスク顔」の研究・指導も取り入れたら良いと思う。

小園:地毛が明るい学生について、どのように感じていらっしゃるかお聞きしたい。

加藤氏、風間氏:余計なことをせず、自然のまま、個性として取り入れられれば良いと思う。

企業によっては、気にしているところもある。

塚本:ブライダル科

現在、他学科ではサービス介助士の資格を必修としており、ブライダル科でも導入を考えている。

飛田氏、風間氏:資格取得まで必要かどうかは別として、車イスのお客様対応の知識は持っているが良いと思う。

加藤氏:同様である。資格取得については、学生にとって自信につながるのであれば目標に掲げることもひとつ
だと思う。

塚本:ブライダル科では、学校生活の中で人間関係(友人関係)に悩んでいる学生も多く、また、卒業研究の
授業では、LGBTを題材に挙げる学生もいた。そういった道徳・心理に伴う授業を取り入れるのはどうか。

山下氏:学生からのヒアリングをもって、スポット的に講義をしてもらうのが良いのではないか。

葉原:夜間部

ホテル科/ブライダル科では、英語の他に中国語なども選択科目として取り入れているが、業界で学んで
おいたほうが良い語学などあればご意見をいただきたい。

飛田氏:英語は必須と感じている。

風間氏:英語と併せて、中国語もこれから必要性があると感じている。

加藤氏:英語がメインである。身近なところから、遊び心を持って学べるような工夫があるとより良いのでは。

矢口:コロナウイルス対策をどうしていくか。規定化されていくのではないかと予想されるが、

「with コロナ」対策を今後も行っていかなければならない。

大学などではタブレットを支給してオンライン授業を行っているが、本校では実技を伴う授業も多く、
対面授業を重視して、授業運営を行っている。

今後、企業説明会や施設案内などオンラインで行われるようであれば、配布なども検討して企業との
連携を計っていきたい。

進行澤田により閉会。